

科目区分	専門分野			科目番号	1407	曜日時間	
授業科目	老年看護学実習Ⅱ						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	岡原 幸代 ・ 横手 理香						
授業目的	命の根源に関する機能を障害した対象を理解し、自然治癒力を高め生活を整えていく援助を学ぶ。						
中核	セルフマネジメント						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セルフマネジメントを必要とする患者の特徴を理解する。</li> <li>2. 健康に向かう患者の持てる力を捉えることができる。</li> <li>3. 患者が、セルフケアを継続するうえで、困難なことを明確にする。</li> <li>4. 患者の思いを尊重した目標を設定し、必要な援助を考える。</li> <li>5. 患者がセルフマネジメントを行うために必要な生活調整を行うことができる。</li> <li>6. 患者に関心を寄せ、その人に応じたコミュニケーションを図ることができる。</li> <li>7. 多職種との連携に必要な知識と具体的方法が分かる。</li> </ol>						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	1 2 日間	<p>病棟の一日の流れと病棟の特徴を知る</p> <p>潜在的問題と現象との関連についてとらえる</p> <p>体内環境に問題のある対象の全体像を把握する</p> <p>健康を障害した対象のライフサイクルを経過を理解する</p> <p>回復するための必要条件からその人の思いをとらえる</p> <p>自力で生活調整が困難な部分を理解する</p> <p>生活の調整方法を理解する</p> <p>継続したセルフマネジメントへの援助を行う</p> <p>家族と連携した援助を行う</p> <p>対象を支える家族への援助を実際の看護師の関わりから学ぶ</p> <p>カンファレンスを通して実習メンバーの受け持ち患者の看護内容について情報交換し理解を深める</p>	臨地実習	90	各担当教員	実践活動の病院以外の実習6時間	
終了後課題	受け持ち患者に必要なレポート						
評価計画方法	臨地実習の援助内容・態度を評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	岡原 幸代 看護師・保健師：地域包括支援等勤務 6年 看護教員：学校勤務 5年 横手 理香 看護師：病院勤務 26年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考	学内実習（実践活動の場以外の実習）の詳細に関しては実習要項に記載あり						